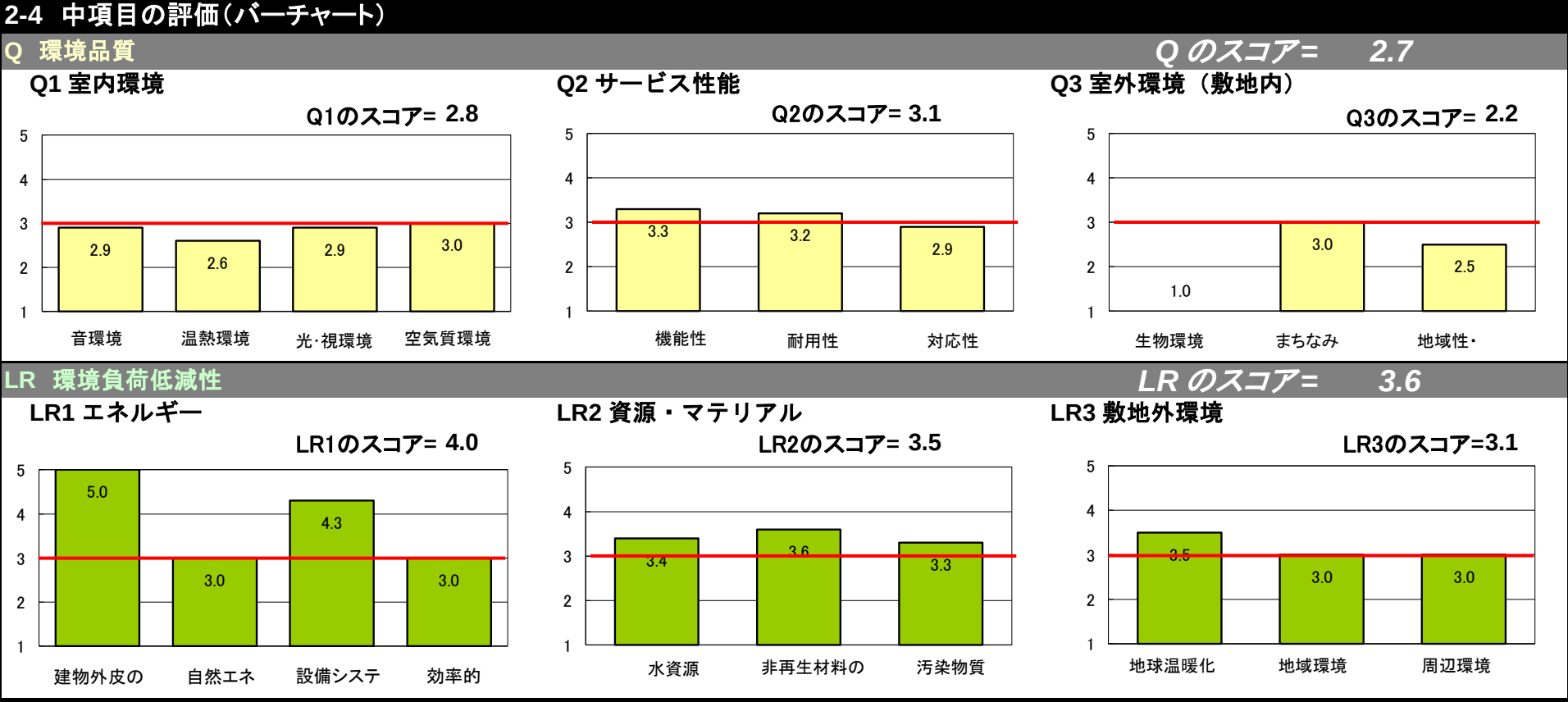
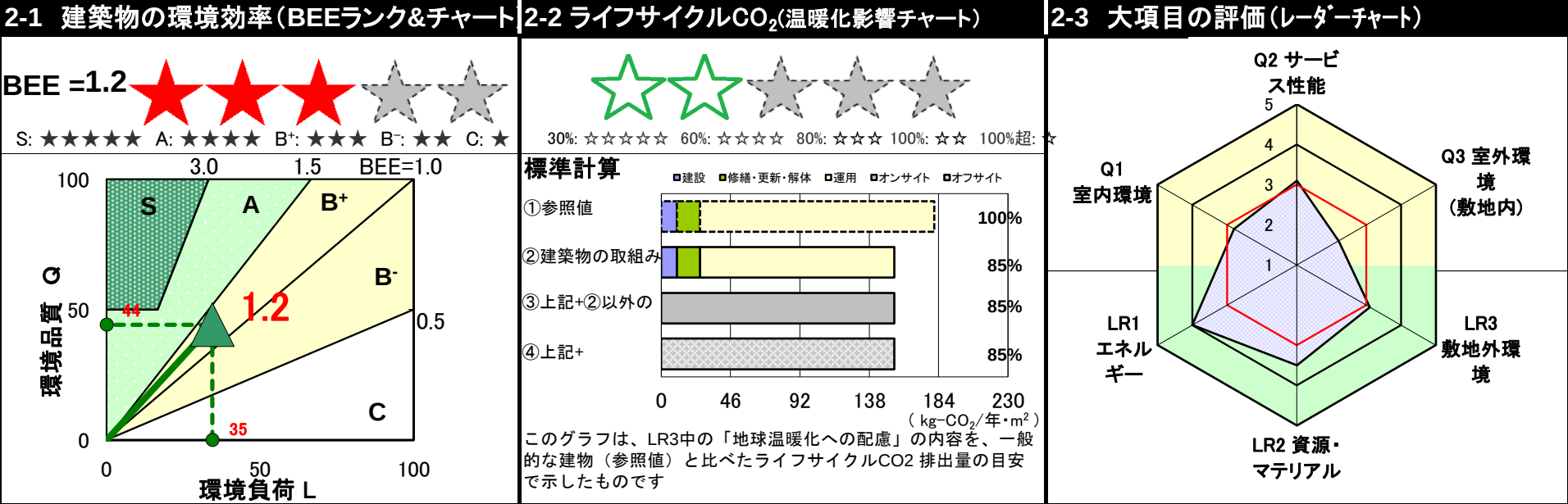


評価結果



1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)リアライブ高陽 新築工事	階数		
建設地	広島県広島市安佐北区真亀4丁目2	地上5F		
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	S造		
気候区分	6地域	平均居住人員		
建物用途	病院	150 人		
竣工年	2018年1月 予定	年間使用時間		
敷地面積	4,301 m ²	8,760 時間/年		
建築面積	2,129 m ²	評価の段階		
延床面積	6,970 m ²	実施設計段階評価		
			評価の実施日	2017年2月3日
			作成者	松本拓也
			確認日	2017年2月4日
			確認者	定森淳一



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.3		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.7	スコア= 1.8	スコア= 3.3
設計の計画に特段に配慮した事項 ウレタンフォーム等高性能断熱材、複層ガラスの採用 / / LED照明等の高効率設備機器の採用 / / 自動水栓に加え、節水型便器の採用 再生クラッシャー(路盤材)、床タイル(床材)、磁器質タイル(壁材) LGS下地の採用、移動間仕切の採用 / LCCO ₂ 排出率=85%	設計の計画に特段に配慮した事項 /	設計の計画に特段に配慮した事項 タイル40年 給排水管は上位3種がB以上、Eは不使用 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される